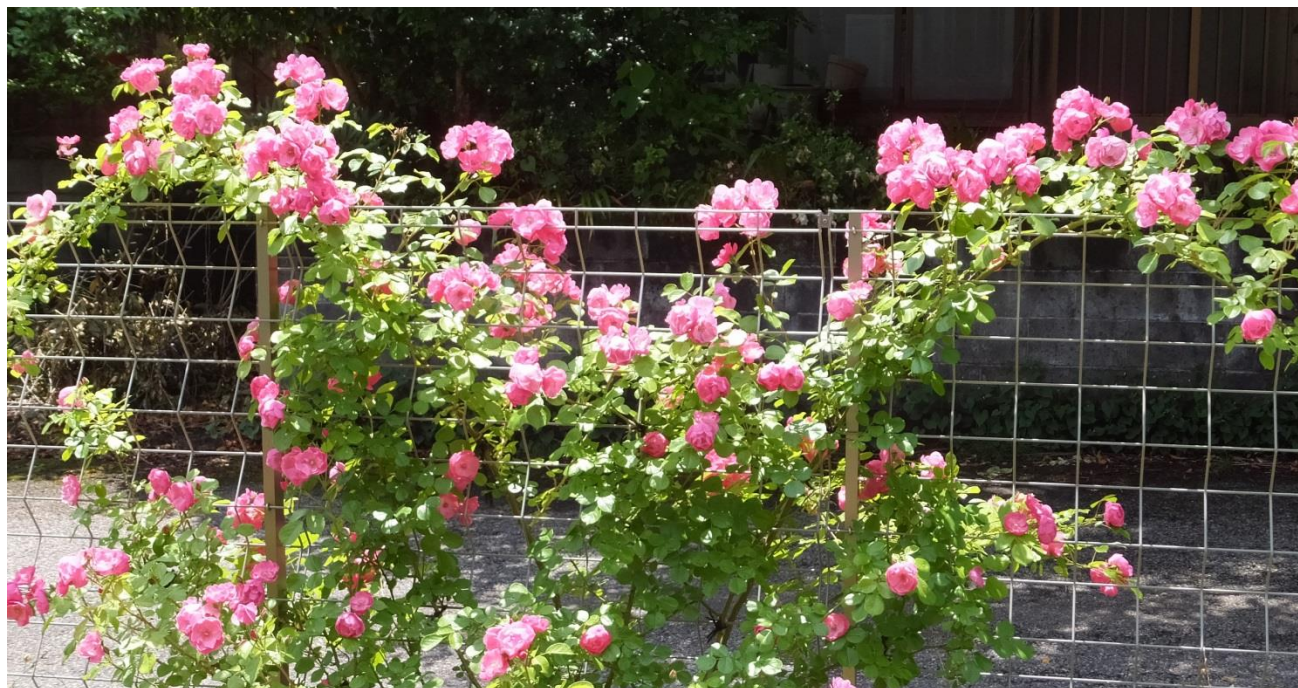


新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



平成 27 年 7 月



基本理念

県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供します。

基本方針

1. 常に診療情報を開示して、患者さんとの信頼関係をもっと大切にします。
2. がん診療連携拠点病院として、すべての医療機関と連携を密にします。
3. がんの研究を行うとともに、患者さんのための医療人の育成に努めます。
4. 病院運営の適正化と効率化に努めます



Contents

就任の挨拶
病診連携予約の申し込み方法を変更しました
新任医師自己紹介 ・ 就任あいさつ
県内唯一のPET-CT施設として6年目
新任MSWです
がんセンターボードのご案内
多地点合同メディカルカンファレンス案内
平成 27 年 7 月外来診療予定表

第19回「がん」についての
市民公開講座 開催のご案内

就任のご挨拶



県立がんセンター新潟病院
事務長 飯塚 吉昭

本年4月から事務長に就任しました飯塚です。日ごろ、地域の医療機関の皆様方には、大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

3月までは、当院の向かいの県新潟地域振興局で、地域振興等の仕事をしておりました。その前も県庁で教育や組織管理的な仕事をしていたことが多く、福祉・保健関係の経験は多少あるものの、30年余りの職歴の中で病院での勤務は初めてです。とまどうことばかりですが、幸い？昨年9月に舌がんの手術をし、2か月半ほど入院生活を体験しました。そのため、患者様の視点に立って考えることができる点が、私の唯一の取りえだと考えております。社会復帰して半年あまりですが、軽い後遺症（構音障害など）以外は特に不自由なく過ごしておりますので、少しでも皆様のお役に立てるよう努めてまいります。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

当院でしばらく仕事をしていて、医師、看護師をはじめとする当院スタッフが、「県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供します。」という基本理念の下、本当に熱心に患者様のため、がん診療の向上のために真摯に取り組んでいることを実感し、心強く思っています。また、



当院から徒歩3分のJR越後線白山駅は新潟駅と往来する列車の本数も多く、当院敷地脇には高速バスの停留所もあり、マイカーを使わずに県内各地から容易に通院できます。これまでのがん診療の実績とPETなどの高度な医療機器に加えて、この充実したスタッフと公共交通の便の良さが、当院の強みです。

当院は、県内のがん治療の中心的役割を担う都道府県がん診療連携拠点病院であり、がん専門病院です。地域の医療機関の皆様からがんの患者さんを紹介していただき、急性期の治療を施した後、地域にお返しすることが当院のそもそもの使命です。地域連携・相談支援センターは、その橋渡しに重要な役割を担っています。地域の医療関係者の皆様には、ぜひ、がんセンター新潟病院を大いに活用してくださいませよう、お願い申し上げます。また、当院のシステムで改善すべき点などについてどんどんご意見をお寄せいただき、より良い連携システムを構築していくことができれば幸いです。



病診連携予約の申し込み方法を変更しました

地域連携・相談支援センター長
竹之内 辰也

平素より当院との病診連携に際して多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月1日よりFAXによる病診連携予約の方法を変更させて頂きましたので、ご報告申し上げます。これまでは診療情報提供書のFAXによる予約をお願いしてきましたが、「忙しい診察の合間に提供書を書くのは大変」「予約を取るのに手間がかかりすぎる」などのご指摘を頂戴しておりました。そこで、連携医療機関の皆様のご負担を少しでも和らげ、よりスムーズな連携を実現するために、簡単な書式の『外来予約 FAX 申込書』を作成しました。予約自体は『外来予約 FAX 申込書』のみで申し込み頂けます。診療情報提供書につきましては、受診当日に患者さんにご持参頂ければ結構です（従来通り、診療情報提供書のFAXで申し込んで頂いても構いません）。

当院ホームページ <http://www.niigata-cc.jp> にてもご案内しておりますので、ご参照いただければ幸いです。今後ともご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

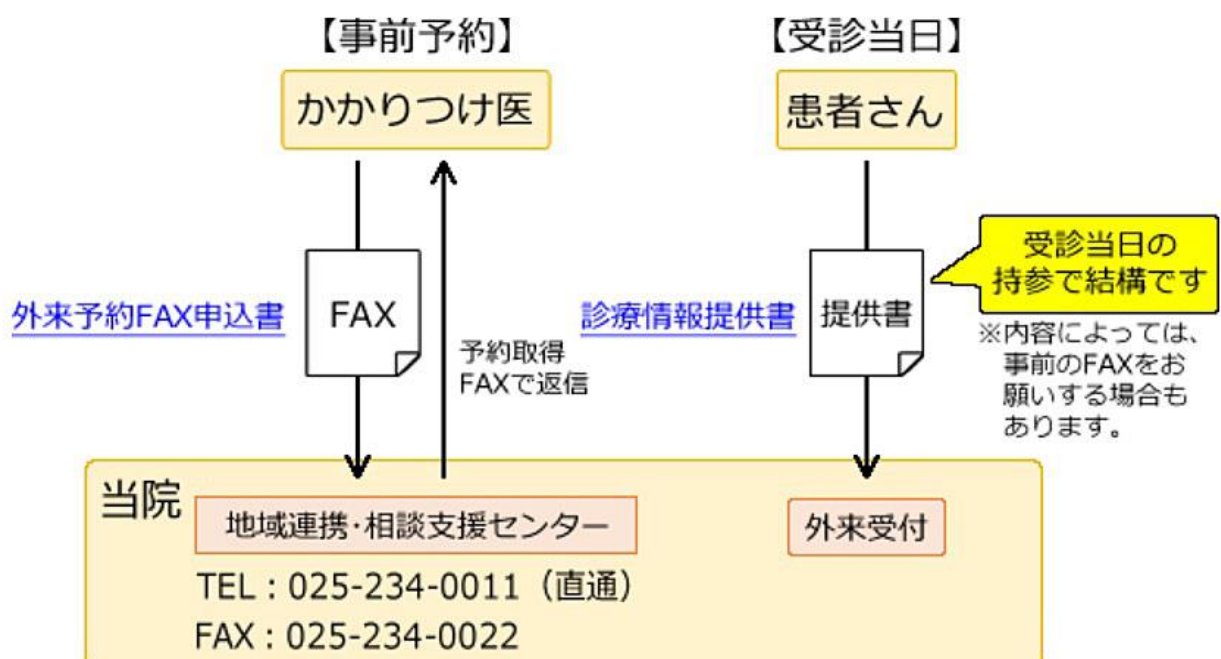
地域連携・相談支援センター（地域連携部門）

□ 地域医療連携事業

当院では、地域連携・相談支援センターを設置して、地域医療連携事業を行っています。

□ FAXによる外来予約

予約申込の手続きを変更しました！（簡単な申込書のみで予約できます）



※検査の予約につきましても、連携の手順は同様です。

よろしくお願いします！

新任医師自己紹介

泌尿器科



泌尿器科
谷川 俊貴

本年4月1月、泌尿器科部長として着任いたしました谷川俊貴です。私は昭和59年3月新潟大学医学部を卒業後、同大学泌尿器科学教室に入局し新潟大学医学部付属病院、厚生連長岡中央病院、長岡赤十字病院にて研修後、新潟大学大学院に進学、第一病理学教室にて膀胱癌の研究を行い医学博士を取得いたしました。大学院終了後は新潟大学付属病院助手、講師として主に泌尿器科腫瘍の診断や治療、医学部の学生教育に従事してまいりました。この度、がんセンター新潟病院の着任にあたり、地域がん医療に微力ながら貢献できるよう努力いたしますのでよろしくお願い致します。



泌尿器科
山崎 裕幸

4月より泌尿器科に着任しました山崎と申します。2013年度も、こちらで1年間勤務し、今回で2度目になります。昨年は長岡中央総合病院で、一般泌尿器疾患を中心に診療を行い、泌尿器科専門医も取得しました。当院は病院の性質上、悪性疾患の患者さんの割合が非常に多く、治療方針につき日々頭を悩ませ、改めて責任の重さを痛感しております。よりよい診療が出来るよう、研鑽を積んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

消化器外科



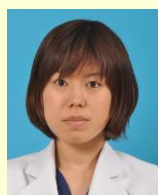
消化器外科
番場 竹生

2015年4月より県立がんセンター新潟病院の消化器外科で勤務している番場竹生と申します。担当分野は上部消化管（食道、胃）です。近年の消化器癌の外科治療においては、癌の根治率の向上は当然のことながら、低侵襲手術により術後の患者さんの生活の質をできるだけ落とさないようにすることも重要な課題です。当院でも食道癌に対する胸腔鏡下および腹腔鏡下手術、胃癌に対する腹腔鏡下手術を積極的に行っていきたいと思っております。特に食道癌では手術治療だけでなく化学療法、放射線治療を適切に組み合わせた集学的治療が大切です。放射線治療科、消化器内科の先生方とも連携をとりながら、個々の患者さんに最適な治療方法をわかりやすく説明して提供できるように努めていきます。昭和52年生まれの37歳でまだまだ未熟者ですが、今後ともよろしくお願い致します。



堅田 朋大

初めまして平成20年度新潟大学卒、新潟大学消化器・一般外科（第一外科）の堅田朋大と申します。平成27年4月より新潟県立がんセンター新潟病院消化器外科に着任させていただきました。半年間と短い期間ではございますが、地域医療にも貢献できるよう全力で働かせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。



田中 花菜

今年度より1年間、がんセンター新潟病院でお世話になることになりました、田中花菜です。私は平成23年に山形大学を卒業し、卒後3年目まで山形の市中病院で研修し、昨年度、新潟大学第一外科に入局しました。新潟での生活にも慣れてきたところです。まだ至らないは多々ありますが、精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



就任のあいさつ



看護副部長

長谷川 美津枝

4月から看護副部長に着任しました長谷川美津枝です。看護部の理念は「がんと共に暮らす患者・家族に対し、その人らしさを大切にした最善のがん看護を提供する」ことです。私たち看護師は、患者さんがどのように感じていらっしゃるのか、そして何をご希望されているのかを共に考え、全ての患者さんが日々の生活をその人らしく過ごせるようにお手伝いをしたいと思います。病院にお越しの際は、いつでもどこでも、そのままに、お声掛けください。



専任セーフティマネジャー

池田 良美

こんにちは。6月から専任セーフティマネジャー（専任SM）として着任しました、池田良美と申します。何故この時期にと、不思議に思う方がいらっしゃるかと推察しますが、魚沼地域医療再編を経て、縁あってがんセンターに2回目の赴任となりました。更に縁があり2回目の専任SMということになります。医療保障改革で、医療の提供体制が大きく変わろうとしているこの時期に、地域の方々と情報を共有し、病院の質の向上を図ると共に医療安全の可能性を探っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

県内唯一のPET-CT施設として6年目

診療放射線副技師長
江部 裕夫



地域のがん診療向上のため、平成22年4月に、検査薬(18F-FDG)の製剤に必要な設備とともにPET-CT装置が当院に設置され、新潟県内唯一のPET-CT施設として5年間検査をおこなってきました。

平成26年度には、検査数は年間約1,900件、その内、他施設からの予約は約3割です。予約待ちは通常2週間以内ですが、混雑時にはこれを超えることもあり、ご迷惑をおかけすることもあったかと思います。

今年7月より、製薬会社のPET用検査薬の供給が開始され、今年度内に、県内4施設にPET-CTが稼働する予定ですので、予約の混雑も解消すると思います。

これからも、他の医療機関との連携を通して地域医療に広く貢献することに日々努めてまいります。

最後に、PET-CT検査を予約される際のお願いです。

- ※ 患者さんの状態により検査をお受けできない場合もしくは介助していただく方の付き添いをお願いする場合があります。
- ※ 検査前6時間の絶食について十分に説明と理解をお願いします。
- ※ 予約時間に余裕をもってお越しください。



新任MSWです！

医療ソーシャルワーカー
植本 洋平

この度、6月より医療ソーシャルワーカーとして着任

しました植本洋平です。

5月までは、魚沼市の県立小出病院で勤務をしていました。魚沼市は皆様もご存じのとおり、豪雪地帯で冬場の生活は非常に厳しいものがありましたが、自然に囲まれ、四季の移ろいを肌で感じながら、充実した時を過ごすことができました。

魚沼地域は医療再編により、今まさに転換期を迎えています。私自身まだまだやり残したことも多いと感じていますが、地域住民の方々に関わらせていただいた中で学んだことを、この地でも活かせるよう、日々精進していきたくと思います。いろいろご指導いただくこともあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。



MSWが4人になりました

カンサーボード

平成 20 年 3 月の厚生労働省健康局通知「がん診療連携拠点病院の整備について」において、カンサーボードの設置と定期的開催ががん診療連携拠点病院の指定要件に加わりました。専門分化の著しい現代医療では、最新・最良の医療を提供するために複数の診療科がひとりの患者の治療に関わる状況はすでに日常的になっています。加えて、リハビリテーション、ペインコントロールや緩和的治療、さらに経済面など患者の生活の質にも十分考慮した全人的な治療を提供するためには、医師や看護師だけにとどまらず、さらに多職種のメディカルスタッフとの意見交換と情報共有も必要です。このような考えのもと、当院でも本年 5 月から月 1 回カンサーボードを開催することになりました。毎回夕方 5 時から 1 ないし 2 例を検討します。当院連携の病院・医院の先生方にも公開の検討会としておりますので、ご自由に参加いただければ幸いです。



がんセンター新潟カンサーボード

会場：がんセンター 2 階講堂

時間：17:00～18:00

開催日	担当科
5 月 19 日 (火)	乳腺外科
6 月 23 日 (火)	消化器外科
7 月 21 日 (火)	消化器内科
8 月 18 日 (火)	婦人科
10 月 20 日 (火)	消化器内科

開催日	担当科
11 月 17 日 (火)	呼吸器内科
12 月 22 日 (火)	頭頸部外科
1 月 19 日 (火)	小児科
2 月 23 日 (火)	整形外科
3 月 22 日 (火)	泌尿器科

多地点合同メディカルカンファレンス

当院は月 2 回第 2・第 4 木曜日に、全国のがんセンターを結んだ多地点合同メディカルカンファレンス（メジコン）も行っています。インターネットを利用し、各地のがんセンターが持ち回りで各種がんあるいはがん診療に関わる話題を発信し（当院発信はすでに終わりました）、多地点から参加の Dr による自由な質疑応答が行われています。

メジコンも当院外の先生方のご参加を自由としています。

今年後半の予定は下記のようになっていますので、興味をお持ちの先生方のご参加ください。

会場：がん予防センター 3 階ネットワーク室

時間：17:30～19:00

開催日	発信施設	テーマ
7 月 9 日 (木)	栃木県立がんセンター	「外来化学療法の取り組みと諸問題」
7 月 23 日 (木)	国立がん研究センター中央	「プラチナ過敏症の対策」
9 月 10 日 (木)	大阪府立成人病センター	「がん診療と栄養療法」
9 月 24 日 (木)	宮城県立がんセンター	「転移生骨腫瘍の CT・MRI 所見の読み方について」
10 月 22 日 (木)	静岡県立静岡がんセンター	「がんリハビリテーション」
11 月 12 日 (木)	国立がん研究センター中央	「がん患者の血栓症への対応」
11 月 26 日 (木)	山形県立中央病院	「大腸がん化学療法の治療戦略」
12 月 10 日 (木)	岩手県立中央病院	「再発がんの早期発見につながる PET 検査の意義」

詳細は病理部本間までお問い合わせください。

新潟県立がんセンター新潟病院 平成27年7月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内科 (金曜Cは新潟大学より)	401診	D 張 高明	A 成澤 林太郎	D 廣瀬 貴之	D 移植外来(4週)	B 小山 建一
	402診		D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診	C 大倉 裕二	F 谷 長行	F 谷 長行		F 谷 長行
	502診	A 青柳(午前) A 加藤(午後)	E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸	E 大山 泰郎	B 三浦 理
	601診	B 横山 晶	A 栗田 聡(隔週)	B 三浦 理	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 塩路 和彦	A 船越 和博	A 佐々木 俊哉	A 船越 和博	C 須田 将吉(午前) C 尾崎 和幸(午後)
	201診	B 田中 洋史		B 樋浦 徹		B 庄子 聡
	新患 (2診体制)	A 成澤 林太郎 A 佐々木 俊哉 B 三浦 理 F 谷 長行	A 青柳 智也 B 小山 建一 D 古田 夏恵 D 石黒 卓朗	A 船越 和博 B 田中 洋史 D 今井 洋介 E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸 B 庄子 聡 C 大倉 裕二 D 廣瀬 貴之	A 塩路 和彦 A 栗田 聡 B 樋浦 徹 D 張 高明
*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医についてはお問い合わせください。						
A: 消化器 B: 呼吸器 C: 循環器 D: 血液 E: 内分泌 F: 糖尿病						
小児科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	細貝 亮介	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診				専門外来(11:00~ 2週は移植外来)	細貝 亮介
乳腺外科 消化器外科	1 診	佐藤 信昭(乳腺)	藪崎 裕(胃)	土屋 嘉昭(肝胆膵)	中川 悟(食道・胃)	瀧井 康公(大腸)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	野村 達也(肝胆膵)	藪崎 裕(胃)	丸山 聡(大腸)
	3 診	長谷川 美樹(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	番場 竹生(食道・胃)	野上 仁(大腸)
	4 診	山田 沙季	中村 陽二	堅田/勝見 [交替]	岡山 幸代	宇宿/早見/田中 [交替]
	予防センター-乳腺		金子/長谷川 [交替]	長谷川 美樹	神林 智寿子	神林/長谷川 [交替]
*乳腺外科は原則予約制です。						
呼吸器外科	1 診	吉谷 克雄	青木 正	岡田 英	青木 正	吉谷 克雄
	2 診		岡田 英			岡田 英
*水曜日は新患の対応はできません。						
整形外科	新患	畠野/細野/佐々木 [交替]	畠野 宏史	小林 宏人	佐々木 太郎	細野 泰照
	再来	小林 宏人	佐々木 太郎	細野 泰照	畠野 宏史	小林 宏人
*完全紹介制です。						
神経内科 (新潟大学より)		河内 泉		二宮 格		石黒 舞乃
脳神経外科	1 診					宇塚 岳夫 (2,4週の午後)
	2 診	高橋 英明		高橋 英明	高橋 英明	高橋 英明
婦人科	1 診	笹川 基	本間 滋	笹川 基	柳瀬 徹	本間 滋
	2 診	柳瀬 徹	菊池 朗	菊池 朗	菊池 朗	笹川 基
	3 診			本間 滋	本間 滋	
*3診は再診予約のみです。						
皮膚科	1 診	高塚 純子	結城 明彦	竹之内 辰也	結城 明彦	高塚 純子
	2 診	結城 明彦	竹之内 辰也	結城(1,3,5週) 高塚(2,4週)	高塚 純子	竹之内 辰也
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	山崎 裕幸	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	ピリーム	小林 和博	山崎 裕幸	ピリーム
*新患は紹介状が必要です。						
眼科		原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
頭頸部外科	1 診	佐藤 雄一郎	植木 雄志		佐藤 雄一郎	佐藤 雄一郎
	2 診	正道 隆介	正道 隆介		植木 雄志	正道(1,3,5週) 植木(2,4週)
放射線治療科	1 診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	松本 康男	松本 康男
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	杉田 公	杉田 公
	3 診	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓
*木曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科		丸山 洋一、富田 美佐緒(月~金 予約可能)			高田 俊和(火~金 予約可能)	
形成外科				坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科		齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)		午前/午後	午前/午後	午前/午後	午前/午後	午前/午後
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						

※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話: 025-234-0011)

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター(地域連携部門)
 TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~17:00
 地域連携・相談支援センターを通して予約した場合、原則として予約日当日に行える検査
 CT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT
 時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます